NEWS

小野原悠が2勝目！柱本翔夢伊が3位でダブル表彰台を達成！

1期生の小野原悠（17）と3期生の柱本翔夢伊（15）が、今シーズン参戦しているSuper-FJ鈴鹿シリーズの最終戦に出場しました。小野原が優勝を飾り、柱本は3位表彰台を獲得しました。

金曜日のフリー走行では、2人ともに好調な滑り出しを見せ、序盤からトップグループで戦えるタイムを記録していました。しかし、フリー走行後半に柱本がコースオフ。マシンにダメージを負ってしまい、急遽修復作業に取り掛かることとなりました。小野原は順調に走行を重ね、万全の状態で予選に臨める状況でしたが、柱本はマシンに不安を抱えたまま予選を迎えることになりました。

土曜日、翌日の決勝スタートグリッドを決める予選が始まりました。当チームの2台は他のライバル勢とは異なる戦略を選択し、単独走行によるクリアラップの確保を狙って、周囲より約1分遅れてコースインしました。2台は慎重にタイヤを温めながら徐々にペースを上げ、アタックのタイミングをうかがいます。小野原は最初のアタックラップからいきなりトップタイムをマークし、好調な走りを披露しました。一方の柱本は、前日のコースオフによるダメージが完全には修復できておらず、本来のペースを発揮できない苦しい状況でした。ライバル勢も次々と好タイムを記録し、セッション終盤には小野原の順位も2番手に後退。残された最後のアタックラップに勝負を懸けます。小野原は各セクターでまずまずのタイムを刻み、勝負の最終セクターへ。チェッカーフラッグが振られる中、コントロールラインを通過すると、最終セクターで全体ベストを記録。見事にトップタイムを更新しました。その後もライバル勢がタイム更新を狙いましたが、小野原のタイムを上回ることはできず、見事ポールポジションを獲得しました。柱本は最後までペースを上げることができず、4番手タイムで予選を終えました。

そして迎えた日曜日、決勝は10周で争われます。フォーメーションラップを終え、全車がグリッドに整列。レッドシグナルが消灯すると、一斉にスタートが切られました。ポールポジションの小野原はまずまずのスタートを決め、クラストップの座を守ったままオープニングラップを終えます。一方の柱本は抜群の蹴り出しを見せ、1コーナーまでに2台をオーバーテイク。しかし、マシンは依然として本来のストレートスピードを取り戻せておらず、直線で次々とポジションを失う苦しい展開となりました。小野原は後方から迫る2番手の選手とのトップ争いに突入し、激しい攻防が繰り広げられます。しかし、一度はオーバーテイクを許して2番手に後退。このタイミングでセーフティーカーが導入され、レースは一時中断となりました。

2周後にレースが再開されると、小野原は前を行くトップの選手に果敢に仕掛け、見事オーバーテイクに成功します。しかし、ライバルもすぐさま反撃に転じ、小野原を抜き返すなど、トップ争いは一進一退の激しい展開となりました。そして、勝負はファイナルラップへ。小野原は2番手で最終ラップを迎えました。最後までトップを狙い続ける小野原は、2コーナーで前を走る選手のわずかな隙を見逃しませんでした。鋭くインに飛び込み、見事オーバーテイクに成功。ついにトップの座を奪い返しました。その後も後続の追撃を振り切り、最後までポジションを守り切ってトップチェッカー。劇的な逆転優勝で今季2勝目を飾りました。

一方の柱本も、マシン本来のパフォーマンスを発揮できない厳しい状況ながら、最後まで諦めることなく粘り強い走りを見せ3位でフィニッシュし表彰台を獲得しました。

小野原の劇的な逆転優勝と柱本の粘り強い3位入賞により、チームはダブル表彰台を達成しました。2人それぞれが異なる状況の中で力を発揮し、Super-FJ鈴鹿シリーズ最終戦を最高の形で締めくくることができました。


PHOTO : Yoshinori ONISHI (Motorsports Forum掲載)


PHOTO : Atsushi BESSHO (Motorsports Forum掲載)


PHOTO : Atsushi BESSHO (Motorsports Forum掲載)



PHOTO : Atsushi BESSHO (Motorsports Forum掲載)




PHOTO : Atsushi BESSHO (Motorsports Forum掲載)